

全日制2年生と定時制3年生については・・・

「職業を理解するために知っておいてください」

自己の進路決定に向けて、職業について理解することの大切さは、皆さんの多くが理解していると思います。職業を理解するなかで、希望する職種や受験する企業を決めていくことになります。

では、どのように「職業」を理解するとよいのでしょうか。次の3つの視点を踏まえて考えてみよう。

● 1つの会社の中にはたくさんの役割（部門・部署）がある

会社の中には、さまざまな役割があります。特定の役割を専門に行う分業体制を作って効率よく運営しています。この特定の役割を行う組織を「部門・部署」と言い、その部門の仕事を「業務・職種」と言います。

多くの会社は複数の部門に分かれています。例えば、食品製造会社（メーカー）は食品を製造することが中心となりますが、その他にも商品を販売する部門、経理や事務部門、原材料を調達する部門、新入社員採用・研修を行う部門など様々な仕事があります。

● どの部門に配属されるかは会社によって異なる

一般的に次のパターンが考えられます。（職種を限定した採用を除く。）

① 新人研修等を通じて適性を判断して配属

② 一定期間、ローテーションで様々な業務に配属（ジョブローテーション）

必ずしも最初から自分の希望する職種（業務）を担当できる訳ではないということを理解しておいた方が良いでしょう。

自分はこの仕事がしたいという強い希望や意思を持つことはもちろん大切です。ただ、「この仕事以外はやりたくない、できない」という考え方ではなく、将来の目標のためにもどんな業務にも適応してスキルアップしてみせるというチャレンジ精神や柔軟性を持つことが大切です。

● 具体的な企業について調べてみる

(1) 今年、求人票がきている企業のホームページを確認する

- ・企業のホームページでは様々な情報を確認することができます。できるだけ多くの企業のホームページを閲覧することで、今まで知らなかった情報を収集することができます。

(2) 合同企業説明会に参加する

〈積極的に質問しよう〉

- ・ホームページ等では分からない疑問点など、直接聞ける絶好のチャンスです。面接の実践練習にも最適です。

〈担当者の雰囲気を感じ取ろう〉

- ・会社の雰囲気を知るのは勿論のこと、後に面接官になるであろう人事担当者の様子を観察しましょう。

〈共感の意を示そう〉

- ・担当者的話で納得できたことや興味深い内容には頷くなどの共感をしましょう。無表情で聞いている人には人事担当者も関心を示さないでしょう。

〈他社との比較も忘れず〉

- ・合同企業説明会は、1日で複数社の話を聞くことができる絶好のチャンスです。興味のある1社の話だけでなく、多くの担当者的話を聞いて比較検討しましょう。他社を知ることで志望動機が明確になることや、思いもよらなかった出会いとなる場合もあります。